

東北地方 1か月予報

(1月8日から2月7日までの天候見通し)

平成17年1月7日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

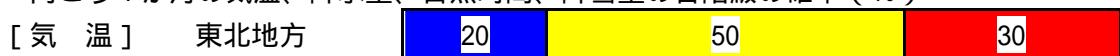
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

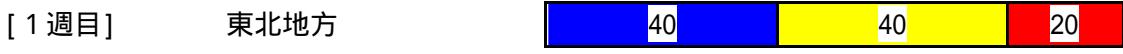
週別の気温は、1週目は平年並か低い、2週目は平年並か高い、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 1月 8日(土) ~ 2月 7日(月)

1週目 : 1月 8日(土) ~ 1月 14日(金)

2週目 : 1月 15日(土) ~ 1月 21日(金)

3~4週目 : 1月 22日(土) ~ 2月 4日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は1月14日

3か月予報:1月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.5	46.8	152.8	21	1.1	0.5	0.2
新庄	-1.5	178.8	45.5		-1.1	-1.5	-1.7
若松	-0.9	79.3	86.6	137	-0.4	-0.9	-1.1
深浦	-0.7	90.6	34.1	79	0.0	-0.5	-1.0
青森	-1.6	148.2	60.4	285	-1.1	-1.5	-2.0
むつ	-1.8	92.4	81.0		-1.2	-1.7	-2.2
八戸	-1.4	51.9	137.3	45	-0.8	-1.3	-1.7
秋田	-0.3	108.4	49.6	101	0.3	-0.2	-0.6
盛岡	-2.3	50.9	130.0	62	-1.8	-2.3	-2.6
宮古	-0.1	60.3	166.2	32	0.6	0.1	-0.4
酒田	1.1	144.8	43.4	89	1.7	1.2	0.8
山形	-0.7	76.8	93.3	118	-0.3	-0.7	-1.0
仙台	1.2	35.7	157.1	22	1.8	1.3	1.0
石巻	0.3	36.9	172.7		0.8	0.4	0.0
福島	1.2	46.3	143.4	46	1.7	1.3	1.0
白河	-0.1	30.5	166.5		0.4	0.0	-0.3
小名浜	3.3	50.0	194.0	0	3.8	3.4	3.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.8	75~109	95~107	84~106
東北日本海側	-0.4~+0.7	91~105	92~111	86~120
東北太平洋側	-0.4~+0.8	62~108	96~105	71~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8~+0.7	-0.7~+0.9	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.8~+0.7	-0.7~+0.9	-0.5~+0.7
東北太平洋側	-0.8~+0.8	-0.7~+0.9	-0.6~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成17年1月7日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月8日~2月7日):

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(1月8日~1月14日):

冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側や東北太平洋側の内陸を中心に曇りや雪でしょう。東北太平洋側の沿岸部では晴れる日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2週目(1月15日~1月21日):

冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。平年と比べ、東北日本海側は曇りや雪の日が少なく、東北太平洋側は晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(1月22日~2月4日):

冬型の気圧配置が続くでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

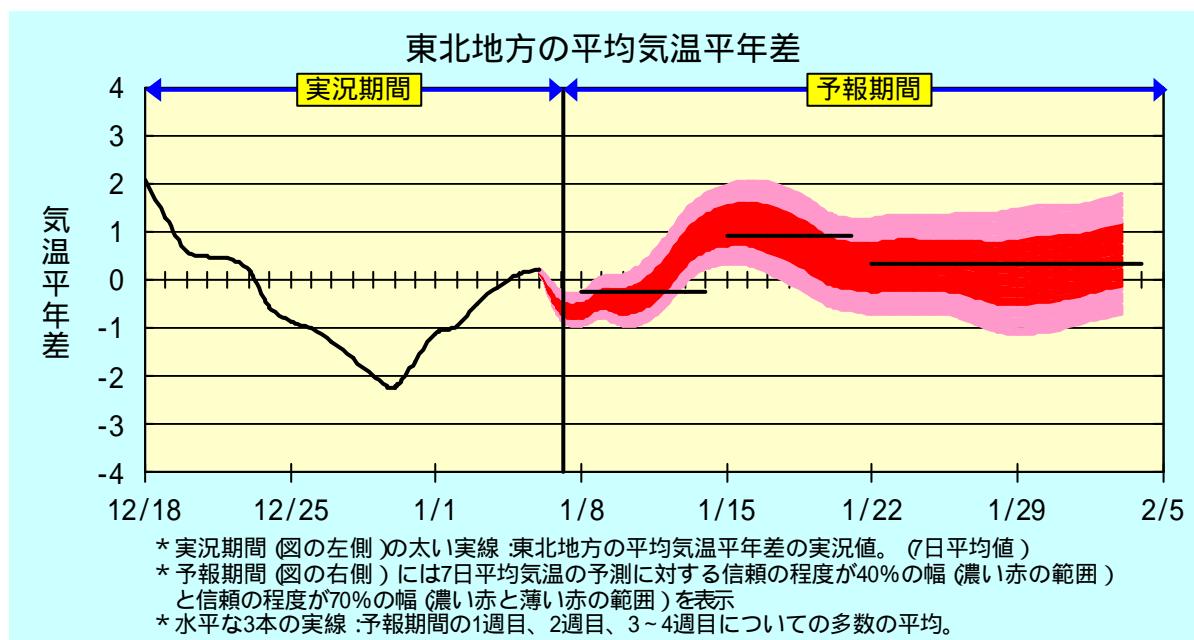
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.0日	1.2日	1.3日	2.5日
東北太平洋側	18.1日	4.4日	4.5日	9.2日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「平年並か低い」、2週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

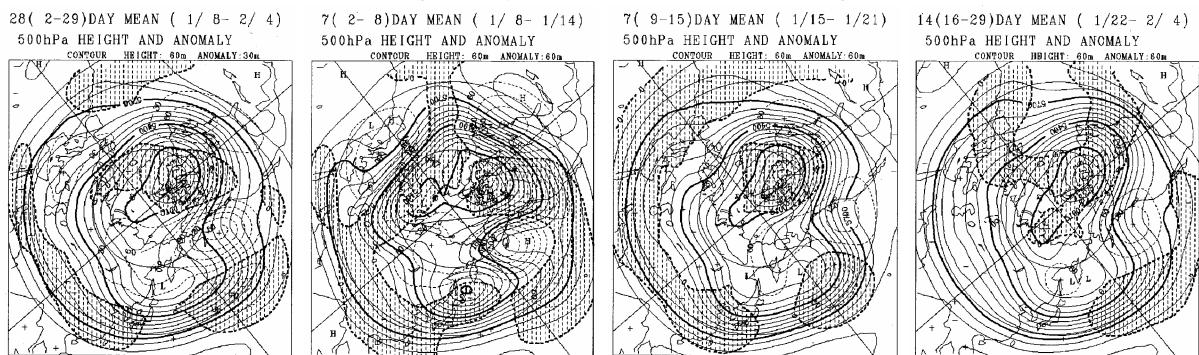


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、北日本は北太平洋に中心を持つ正偏差に覆われるが、西日本は中国大陸から延びる負偏差に覆われる。偏西風の流れは東西風が卓越し、強い冬型の気圧配置は長続きしない。

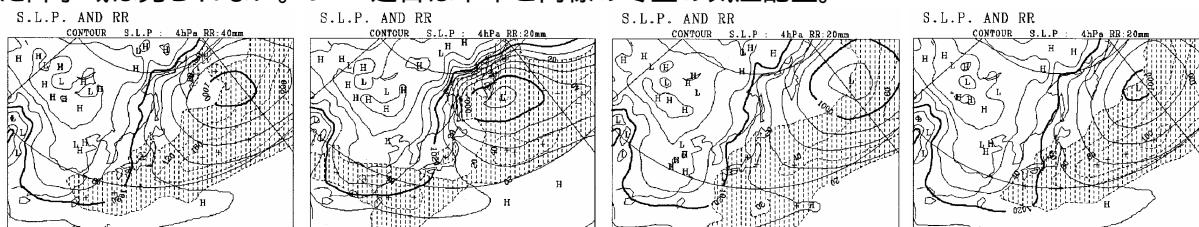
1週目は、日本付近は中国大陸から千島近海に延びる負偏差に覆われ、強い寒気の南下が予想される。2週目は、月平均と同様に北日本は正偏差となり、寒気は西回りで南下。3~4週目は、日本付近は弱い正偏差に覆われる。但し、予想のばらつきは大きい。



地上気圧と降水量：

月平均では、アリューシャン付近に低気圧、中国大陸に高気圧があって、日本付近は冬型の気圧配置となり、本州日本海側には寒気に伴うまとまった降水域がかかる。

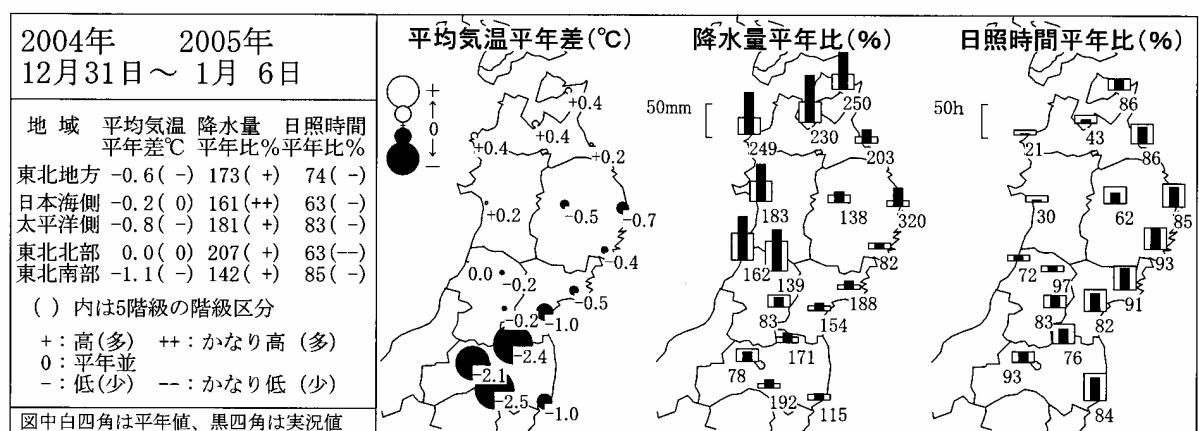
1週目は、日本付近の等圧線の間隔は狭く、冬型の気圧配置は平年より強い。2週目も冬型の気圧配置だが、大陸の高気圧やアリューシャンの低気圧は平年より弱く、本州日本海側のまとまった降水域は見られない。3~4週目は平年と同様の冬型の気圧配置。



4. 最近1週間（12月31日～1月6日）の天候の経過

この期間、31日に低気圧が本州南岸を発達しながら北東に進んだため、東北太平洋側で大雪となる所があり、交通機関に乱れが生じた。その後は冬型の気圧配置が続き、東北日本海側を中心に雪となったが、東北太平洋側では概ね晴れた。しかし、6日は低気圧が日本海を進んだため、東北地方は曇りで、東北日本海側では雨となる所もあった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)